日本共産党 和歌山市会議員
ひめだ高宏ニュース
NO.1314
'20.10.20

決算特別委員会報告

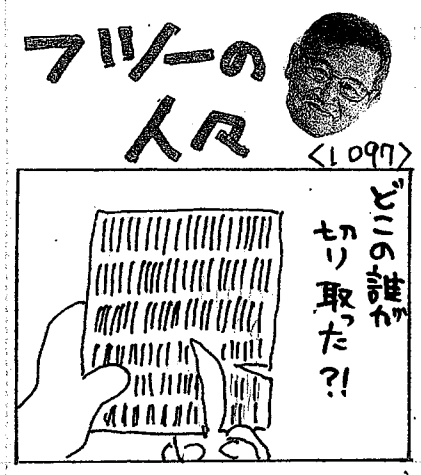
9月定例市議会最終日に2019年度決算審査のための特別委員会を設置。昨年まで、公営企業と一般・特別会計の決算特別委員会を別々にしていましたが、今年は、1つの委員会で審査する、イ・審査の仕方を4常任委員会から監査委員を除くメンバーによる分科会審査とし、2分科会が各3日間、審査。10月20日に討論、採決。今号は、日本共産党の森下さち子議員の反対討論について報告します。

2019年度決算に反対

2019年度は、歳入2584億7225万円、歳出2547億6152万円で実質収支は4億4128万円の黒字、単年度収支は10億3140万円の黒字。事業がどのように執行されたのか、次年度の予算編成にどのように生かすのかが問われます。翌年度繰り越しが多分野にわたり多額に上っています。全体として計画段階において詰めが甘かったもの、国との関係においても消化できる見通しがないまま予算化したと思われるものなどが散見され、不用額が多額に上っています。他費目への流用が、また関連のない新しい事業に使っていることが明らかになりましたが、市民に説明ができないようなやり方を改め、補正予算を組むなど改善すべきです。

総務局の赤字バス路線維持費2375万円の成果として「路線存続に寄与した」との記述がありますが、補助した4路線中3路線が当該年度末で廃止となっています。

財政局について、和歌山地方税回収機構は、設立目的であった大口債権の回収が終わり、当該年度は50万円以下の債権が対象で、そのために2名の職員派遣や多額の手数料を払っている現状。目的は達成されてお



今週のフツーの人々（その260）

説明になっていない

10月19日、共同通信社は、17、18両日に実施した全国電話世論調査で日本学術会議が推薦した会員候補6人の任命拒否問題をめぐり、スガ首相の説明は不十分だとの回答が72・7％に達した、十分だは16・1％だったと発表。固定電話505人、携帯電話506人の回答結果とのことです。

スガ首相は、任命に関し「総合的・俯瞰的に判断した」と述べた4日後に、自身が見た候補者名簿は99人だったと説明した上で、「推薦をもとに任命権者である首相が決めたので問題ない」と開き直っています。そもそも「総合的・俯瞰的な判断」は6人を排除した説明ではなかったのか？首相の判断でなかったら誰が排除を決めたのか？これで説明が十分だと思える人が2割近くもいることが不思議です。

ひめだ高宏

り、廃止するべきです。

健康局の国民健康保険事業特別会計で医療費適正化特別事業費6578万円はレセプト点検強化、年2回の医療費通知、年2回のジェネリック医薬品の差額通知の実施が適正化に寄与したとのこと。医療費を意識させることにより市民の受診抑制につながる懸念は拭えません。さらに単年度黒字分を保険料軽減に使わなかったことは残念です。

福祉局の保育所費32億！8000万円について、待機児童数は依然として減ったといえない状況にあり、公立子ども園の建設で待機児童が解消できるとした計画が現状に合っているのか、中間的な総括が求められます。

市民環境局の戸籍住民基本台帳費の不用額4483万円のうち4447万円が通知カード・個人番号カード関連事務負担金です。当初予算で8065万円、12月に1400万円増額。マイナンバーカードの交付率は、わずか14%。個人情報の漏洩への不安、情報管理への抵抗感等々が原因と思われ、必要性そのものが問われていることを直視すべきです。

産業交流局について、海外販路開拓支援事業で50万円取っていましたが、全額不用額となり、この状況は2年続いています。そもそも必要な予算だったのかが問われます。

教育委員会の人権教育費中、平井、鳴神のこども会、人権教室の講師謝金に不正な使用や実態がなかったことなどから返還を求めたこと、こども会にかかわる補助金や委託料が他にも散見されます。不正使用につながる原因は漫然と事業を繰り返しチェック体制が不十分だったということからも人権教育全体についての見直しを求めます。

都市建設局の土地造成事業特別会計は分譲地の販売が一部進んだものの、もともと商業用地を用途変更し運動公園の駐車場のために市が買い戻したという内容であり、本来の事業はすでに成り立っていません。駐車場管理特別会計も一部収益の改善があるものの、累積赤字の解消には至っていません。

公営企業について、上水道の有収率向上対策は前年度と比較すると有収率が1.95%も低下しています。1月に発生した花山交差点の漏水工事の影響を差し引いても下回っているのは問題です。

下水道について、赤字を抱えたまま企業会計への移行が問題。独立採算を求めるのではなく、普及率や接続率などの基本的な問題を解決することに重点を置くべきです。

以上、問題点を指摘し、反対討論とします。（抄）

こんにちは 日本共産党です

小児科受診7月は3割減

厚生労働省は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う受診控えについて、直近の7月の状況を14日の社会保障審議会の部会に報告しました。報告は社会保険診療報酬支払基金の全国統計で、病院・診療所とも患者数の減少は5月がピークで20数%減でした。診療科別では小児科の減少が最も大きく、7月は28.9%減、耳鼻咽喉科が24.1%減、内科が13.9%減、外科が13.7%減とつづいています。日本小児科医会は、わが子の感染を恐れる当然の親心だが、開院する診療所も出始めているという実態を報告。「自粛生活によって72%のこどもたちに何らかのストレス反応があらわれ、のびのびとした成長が妨げられている」との国立成長医療研究センターの調査結果を紹介し、国に支援拡充を要望。

演劇集団「和歌山」 闇の道連れ」を見て

10月10日、久しぶりの観劇。秀吉による太田城の水攻めが舞台だが、どこに焦点が当たっているのかが微妙でした。次回公演に期待しています。ファイト!!